

2020

8

～新しい「公」づくり市民の皆様と～

QSK

はじめよう!



CONTENTS

事業所の行事より	P 2～P 3
HP 完成のお知らせ・日常の風景	
合同避難訓練	P 3
ICT パソコン教室の様子	P 4
マスク熱中症にご注意を	P 4
4月～6月 活動実績	P 5
移動サービス運転者講習会開催案内	P 5
4月～6月 会の動き	P 6
佐地共連資質アップ WEB 研修報告	P 6
寄附者紹介	P 7
木のある空間は健康空間	P 7
グループ事業所案内	P 8



長梅雨だった7月のカレンダー
(まちのホーム医大前)



市民生活支援センター
ふくしの家

「住民による居場所づくりの協働から」

カフェ開催中、その会話の中で「デイサービスには行きたい」と言われる方がときどきおられます。望んで行きたいという声はあまり聞こえてきません。病気になったとき医療を受けたくないという人はいないと思いますが、介護保険については、利用する前の段階で気持ち的な部分で大きな隔たりがあるというのが現実のようです。確かに、もし自分が利用する立場ならどうだろうと考えたとき、さほど答えは変わらない自分に気づかれます。

通いの場に来る人々を眺めていると、介護保険のあり方やその本質を考えさせられます。当たり前ですが、介護保険のお世話になりたくないという人々ですから、ここでは介護保険は使わないし、意識してもらう必要ありません。でも、場所を提供した側からすると、何となく介護保険の一環としての取り組みのような気がします。2000年の介護保険施行からその制度の中身は刻々と変化し、その度に事業も変化させてきました。これまでの制度改正から今の通いの場づくりの実践につながっていることを思えば、介護保険の財源を使わずとも、介護保険事業の一環という捉え方です。

もう一つ、介護保険は国民全員が使えるものではなく、認定を受けた人しか使えないという点です。通常、要支援や要介護になり、自分への

直接サービスの負担軽減になって初めて使ったことを実感できますが、元気なうちは使えない制度なので何かしつくりきません。でも、もし自分はまだ介護保険のサービスはいらないけれども、例えば、好きで通っている居場所があって、その推進や地域づくりに介護保険の財源が使われているとしたら、毎月の保険料を払う人もそれなりの納得や意義を感じられるかもしれません。子どもたちも交ざって来る日があればそれはそれで、その子もその親も介護保険の恩恵を受けていることにもなります。地域包括ケアシステムや地域づくりを進める上で「介護保険があるって良かった」という声が住民の間に広がっていったり、推進する側も「地域づくりのためにこのようなことに介護保険は使われている」と自信を持って言えるようになることが大切ではないでしょうか。

地域包括ケアシステムという言葉が少しずつ浸透していく中、最近ではそれに地域づくりという言葉も加わりながら、その意味についてわかったようでもわからないような、まだまだ絵に描いた餅という印象がつかまっています。でも、その構築に向けて様々なことが動き出していることも確かです。お世話になっている地域において、本会の実践が少しでも地域包括ケアシステムの一端を担えるよう今後も努力を続けていきます。

理事長 江口 陽介

まちの子ども保育園のホームページができました!

<http://machino-kodomo-hoikuen.com>

保育園のイベント・行事や新着情報などを更新しています。

どうぞよろしくお願いいたします。



氷

保育目標

(育てほしい子どもの姿)

- ・元気にすくすくと育つ子ども (よく食べ、よく眠り、よく遊ぶ子ども)
- ☆子どもたちのために・・・
- ・家庭的な雰囲気の中で、安全に安心できる居場所を作ります。
- ・一人一人の個性を大切にします。
- ・基本的な生活のリズムや他児との関わり方を学べるようにお手伝いします。

園長 小林友子



医大南陸会のダンベル教室
3F から 1F での開催に変更され
て居場所としての活動も盛ん
です。(P7 にも pic 有り!)



ありがとう
になります

まちのホーム医
大前では8月5
〜6の2日間お
むつの製造メカ
ーの方にお越し頂
き、おむつの講習
会を開催しまし
た。

おむつの特性や
それぞれの方に合
った正しいおむつ
の選び方やパツ
ト・リハビリパン
ツの着け方などを
詳しく教えていた
だきました。実際
に職員も着用した
り積極的に質問し
たり有意義な講習
会になったよう
です。

合同避難訓練

R2年6月25日

まちのホーム循誘・グループホームじゅんゆう寮・ケアホームふくしの家

ホーチキ佐賀から1名の協力を得て利用者様22名スタッフ8名、夜間に厨房コンロより出火想定での避難訓練を実施しました。今回は雨の為、室内だけでの訓練となりました。

＜気付き・反省＞

今回は夜勤者・助手の3名でB棟利用者20名の避難経路の確認及び初期消火から119番通報までを重点的に訓練を行いました。厨房が建物の中心部にあるため、避難経路は玄関だけではなく東西南北の非常口で出火地点より遠い所へ誘導する。車椅子利用者も半数近くいて、就寝中の方もいる為スタッフの協力体制と近隣の方の応援が急務となります。B棟の避難誘導を行いながらA棟1階・2階の利用者の避難誘導も同時に行っていかなければならない。特に2階のグループホーム利用者は絶対にエレベーターの使用は出来ないため、西側の非常階段を慌てず順番に降りていくが、歩行に問題がある方が2名いるので協力しながら転倒しないように安全に避難を行うための訓練を行いました。



最近では火災はもとより大規模な地震、風水害が全国的に発生しており予想もできない被害がでています。場合によっては避難場所をA棟2階に変更する場合もあるので、次回からはいかなる災害にも対応しうる訓練を計画することも必要と思いました。

(防火管理者 副島)

で盛り上げています。
まちのホーム循誘 机上で出来る遊び



まちのホーム医大前
今年は例年より梅雨が長く感じられました。
じめじめなんかに負けないで 皆さん楽しく
過ごされています。コロナの影響でミニコンサート等
が開催されないのが寂しいですね。



◆ボランティア養成講座 7/11 開催 会場:ゆめくれよん+教室 講師:古田 悦子先生

学生対象のボランティア養成講座を西九州大学生 3 名参加で開催しました。マスクが外せない上に目隠しもするという重装備で臨まれました! 受講者の方からは今後の障がい者へのサポート時に役に立てそうで受講して良かったとの声。ゆめくれよん+では県内各地で大学生対象や企業向けのコースも行っています。



◆パソコン教室 7/17 開催 会場:唐津市障がい者支援センター(リハく)

4 月からの開催がコロナのため 5 月スタートになり、受講申し込みもキャンセルが出るなど影響は少なからず感じます。それでも熱心に視覚障がいの方が虫メガネ持参で頑張られると、開催出来て良かったなと思いました。Word や Excel の基本を学び 11 月開催の障がい者月間に向け作品作りをしました。(管理者 福田)

マスク熱中症にご注意を

「新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用や外出の自粛は効果的ですが、これらは熱中症のリスクを高める一因にもなるといわれています。そのため、今年は例年以上に早期から熱中症に注意が必要です。

マスク着用時のリスク

- ・ 熱が体外に出にくくなり、体内温度が上昇
- ・ 口の中が湿っているため、のどの渇きを感じにくく、自覚がないうちに脱水状態になりやすい

外出自粛のリスク

- ・ 運動などで汗をかく機会が少なく暑さに身体が慣れていない

予防

- ・ 例年以上に意識して水分補給をしましょう
- ・ 1 日 3 食きちんと食べ、よく睡眠をとしましょう
- ・ 人ごみを避けた散歩や、室内で軽い運動を行うなど、適度に体を動かしましょう
- ・ 暑いと感じたらクーラーをつけましょう
- ・ 湿度が高くなならないよう、こまめに換気を行いましょう



過ぎたことを悔やんでも、しょうがないじゃないか。目はどうして前についていると思う? 前向きに進んでいくためだよ



会の実績

訪問介護

福祉有償運送

	まちの移動ケアサービス				ふくしの家		
	4月	5月	6月		4月	5月	6月
介護輸送	705	681	753	実利用人数	5	5	5
身体・生活	124	109	130	延回数	17	16	28

小規模多機能型居宅介護

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
開所日数	30	31	30	30	31	30
実利用人数	26	25	25	29	29	30

住宅型有料老人ホーム

グループホーム(共同生活援助)

	ケアホームふくしの家				サンコートなべしま				ふくしの家		
	4月	5月	6月		4月	5月	6月		4月	5月	6月
開所日数	30	31	30	開所日数	30	31	30	開所日数	30	31	30
実利用人数	21	21	21	実利用人数	13	14	13	実利用人数	5	5	5

特別支援学校放課後児童クラブ(佐賀市委託事業)

	チャレンジドクラブ				かがやきクラブ		
	4月	5月	6月		4月	5月	6月
開所日数	24	21	25	開所日数	24	21	25
延利用人数	57	53	78	延利用人数	121	119	164

障がい者ICTサポートセンター(佐賀县委託事業)

	ゆめくれよん+		
	4月	5月	6月
ボランティア派遣	0	0	0
パソコン教室	0	0	10
ボランティア養成	8	3	16
ボランティアスキルアップ勉強会	0	0	0
ふくしの家パソコン事業	0	3	8

子育て支援事業

	まちの子ども保育園		
	4月	5月	6月
開所日数	26	25	26
通常保育	135	131	167
一時保育	31	20	62
休日保育	0	0	0

ささえあい(循誘地区)

	ふくしの家		
	4月	5月	6月
買い物	0	0	1
その他	0	0	0

サロン(カフェハーモニー鍋島と協働) サロン(紺屋町と協働)

	ハーモニー鍋島				来ん家		
	4月	5月	6月		4月	5月	6月
開所日数	1	6	11	開所日数	4	0	4
延利用人数	6	58	127	延利用人数	29	0	20

ふくしの家
活動実績
4月~6月



移動サービス認定運転者講習会 受講者を募集します!

(国交省大臣認定)

8月22日(土)~8月23日(日)

■受講条件

- ・県内在住で県内の事業所で活動予定の方
- ・受講者本人が過去2週間において受講当日までに、①咳・発熱・腹痛・嘔吐等の症状
- ②感染拡大地域での飲食外、③海外からの帰国、④家族や親近者等に①~④がない等自認できる方

■会場 鍋島シェストビル1F ■受講費 会員 10,000 円 非会員 15,000 円

※開催方法

- ・受講者はマスク持参・着用の上、会場は3密を排除した形式で実施します。
- ・休み時間毎に換気します。 ・手指洗浄、消毒をお願いします。

<http://www.fukushinoie.jp/> ☎ 0952-36-6865





10日 佐賀市高齢福祉課来訪 11日 NPO法人こだま(嬉野市)来訪
22日 月次決算報告 まちのホーム循誘運営会議
24日 まちのホーム医大前会議 28日 佐賀市高齢福祉課来訪



11日 月次決算報告
13日 佐賀県地域共生ステーション連絡会決算監査 市民協・杉本氏来訪
14日 ふくしの家監査
19日 NPO法人ひまわり(唐津)来訪
21日 鍋島包括と第2層協議体打合せ 佐賀市高齢福祉課来訪
24日 まちのホーム医大前ミニイベント
28日 さわやか九州1ブロック打合せ 運営会議・まちのホーム循誘



2日 ZOOM会議・佐賀県地域共生ステーション連絡会
4日 佐賀県地域共生ステーション連絡会資質アップ研修「外国人雇用」zoom講師:㈱ホットライン
22日 福祉車両安全運転講習の件・県庁長寿社会課訪問
23日 生活支援体制整備事業・県庁長寿社会課訪問
24日 地域支え合い会議(運営推進会議)・まちのホーム循誘
月次決算報告
25日 運営会議・まちのホーム循誘
29~30日 福祉車両運転講習会・シルバー人材センター受託・鳥栖市



■第1回佐賀県地域共生ステーション資質アップ研修(WEB研修)報告

6月20日(土)10時から12時、WEB研修を実施しました。「特定技能(介護)における外国人雇用」と講師と題し、株式会社ホットライン(佐賀市)佐藤良輔氏から外国人養成の実際や、今後の外国人の可能性などについてお話していただきました。19名の方が参加され、連絡会の数団体からすでに雇用の申込につながっています。はじめてのWEB研修でしたが、とてもわかりやすかったという声も届きました。今回の特定技能外国人雇用のWEB研修は、再度年度内に実施予定です。開催日時が決まりましたらお知らせいたします。

■日本カーシェアリング協会 佐賀支部が開設されています

佐賀県は、地域活性化を目的に、各分野で活躍するCSO(市民社会組織)を誘致しています。令和2年から一般社団法人日本カーシェアリング協会の佐賀支部が、武雄市東川登町に誘致されました。熊本豪雨では多くの車両を被災地支援のために貸し出しています。石巻の被災地支援から生まれた、コミュニティーカーシェアリングは、いま地域の高齢者の足として全国に広がっています。さが移動ネットも応援していきます。

■佐賀県の国土交通大臣認定福祉有償運送講習団体

1 さが福祉移動サービス・ネットワーク(通常講習年間4回開催)

講習内容 福祉有償運送・セダン型講習

2 NPO法人市民生活支援センターふくしの家(臨時講習のみ)

上記、2団体が認定を受けています。通常講習以外にご依頼がある場合は、ご相談ください。



カフェーホーム丁鍋島の皆さま 第一波の
コロナ禍を乗り越え活動されています!!!



【賛助会費及び賛助寄附】

令和2年2月

令和2年6月受付まで

医療法人葡萄の木 崔承彦様 山口 信義様
岩本恵美子様 緒方梅千代様 貝原 洋子様

心より感謝いたします

木のある空間は健康空間

身も心もリフレッシュできる森林浴。森林で爽快感を体験した人も多いと思います。この効果をもたらすのは「フィトンチッド」と呼ばれる森林の香りの成分です。もとは、植物を食害する虫などから身を守るために、発せられると言われていますが、私たち人間にとっては、多くの恵みを与えてくれる「森林の精気」です。そして、森林の木々が木材になっても、フィトンチッドの効果は持続します。たとえば、「ヒバ材」で建てた家は、その芳香で、虫がよらない、カビが生えない、土台が腐らない、「クスノキ」のタンスには防虫剤はいらないなどといわれています。また、木の家や木質の内装の部屋では、森林浴と同じような効果があります。

木のある空間は長生きできる!? さまざまな素材の飼育箱で子マウスの長生き実験をしたところ、次のような結果になりました。23 日間の生存率は木の飼育箱では、他の飼育箱より断然高いことがわかります。私たち人間も木のある空間では、長生きできるかもしれません。

木のある空間はガンも抑止 ガンは日本での死因の第一とされています。女性を対象に調査したところ、木造率が高くなるほど、乳がんによる死亡率が低くなることがわかりました。

杉の香りによる癒し効果

スギ材やヒバ材など木材の香りを嗅ぐと、脳血流量が沈静化して、「怒り」「緊張」「疲労」「抑鬱」の感情が減少することが明らかになっています。また、木材の精油成分は、悪臭やホルムアルデヒドを 40%~80%除去することもわかっています。さらに、防カビ・防ダニ効果もあります。木の家は健康で快適な住空間を創出します。【参考文献】新建新聞社「新建ハウジング」



特定非営利活動法人 **活木活木(いきいき)森ネットワーク**



まちのホーム医大前 アニマルセラピーの日
星くん、みんなを癒してね〜♪

おくやみ

まちのホーム循環

千住 キミ子様 令和2年6月20日

スタッフ一同、心より

ご冥福をお祈り申し上げます

事業所

- ケアホームふくしの家【住宅型有料老人ホーム】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-37-5102
- まちのホーム循環【小規模多機能型居宅介護】・グループホームじゅんゆう寮【共同生活援助】
佐賀市東佐賀16番2号/電話0952-28-4286
- まちの移動ケアサービス 鍋島センター【訪問介護・居宅介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F/電話0952-34-2790
- まちの子ども保育園【佐賀市認可小規模保育施設】
佐賀市大財6丁目4番4-66号/電話0952-22-3744
- 佐賀県障がい者ICTサポートセンターゆめくれよん+【佐賀県委託事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー北棟/電話0952-36-6977
- 市民生活支援センターふくしの家事務局
佐賀県地域共生ステーション連絡会事務局/さが福祉移動サービス・ネットワーク事務局
いきいき住まいサポート【住宅確保要配慮者居住支援法人指定事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F/電話0952-36-6865
- 金立特別支援学校放課後児童クラブ「チャレンジクラブ」/電話090-9566-6768【佐賀市委託事業】
- 大和特別支援学校放課後児童クラブ「大和かがやきクラブ」/電話090-7475-8989【佐賀市委託事業】
- まちのホーム医大前【小規模多機能型居宅介護】/総合福祉ビルハーモニー窓口
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー4F/電話0952-36-6113
- サンコートなべしま【住宅型有料老人ホーム】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー5F/電話0952-36-6113
- まちの居場所来ん家
佐賀市紺屋町1番14号/電話0952-36-6865



パソコンを活用してイキイキライフ!!

ICT ボランティア養成講座を開催します!

日程 9月25日(金)~26日(土) 時間 9:30~16:30
 場所 ゆめくれよん+
 内容 障がいの理解・パソコンでの支援・グループワーク(企画)

養成講座は障害への理解や対応の座学や、障害に応じた ICT 活用の具体例などを学びます。
 全行程受講後「ボランティア登録」をし、活動可能なエリアで無理なく楽しく活動して頂きます。
 障害のある方のための ICT 教室の講師や、講師のお手伝い、障害のある方のご自宅へ直接
 お伺いしてパソコンサポート等の活動など。

佐賀県障害者 ICT サポートセンターゆめくれよん+
☎ 0952-36-6977

はじめよう! 8月号



【編集/印刷】 特定非営利活動法人 市民生活支援センター ふくしの家

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェスト 総合福祉ビルハーモニー3F

TEL (0952) 36-6865 FAX (0952) 36-6895

E-mail fukushinoie@world.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>

【発行】 九州障害者定期刊行物協会

〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出 2-2-18

TEL (092) 753-9722 FAX (092) 753-9723

〔定価 100 円〕

【購読料は会費等を含む】

※身障第三種郵便の会報以外に、普通郵便扱いで行政、関係福祉団体、市民向けに広報誌としても送付しています。